

令和2年度市民提案型事業報告会

ファミリーロード[®]の会

事業名

町内会（有志）による植樹帯の整備を通して、旧モデル事業構想の実現

旧モデル事業構想とは

総社市駅南地区区画整理事業完了後、行政と地域とで管理地（花壇、公園など）を整備していくというもの

この事業を通して目指すもの

対話の場をすることにより町内会の融和と団結をはかり、世代を超えて家族参加型の取組とすることにより、自分達の手で明るく住みやすい町内を創っていくという意識を育てる。

植樹帯（花壇）に関わる経過

○平成31年度（令和元年）

初めて市民提案型事業として認定される。

○令和2年度の取組

- ・ボランティア清掃 年4回 ※町内一斉清掃 年3回
5 / 17、6 / 21、8 / 23、11 / 15
- ・芝桜を楽しむ会 ※中止
- ・中秋の名月を楽しむ会 ※中止
- ・コロナに負けるな：ファミリーロードの会
片岡市長や近隣の町内会役員を招待して、10月3日に開催
- ・家族で「超ミニクリスマスツリーを作る」企画 12月実施
希望家族にコニファー小鉢を届ける

植樹帯に植栽

R2年5月 ポット苗400株を植栽

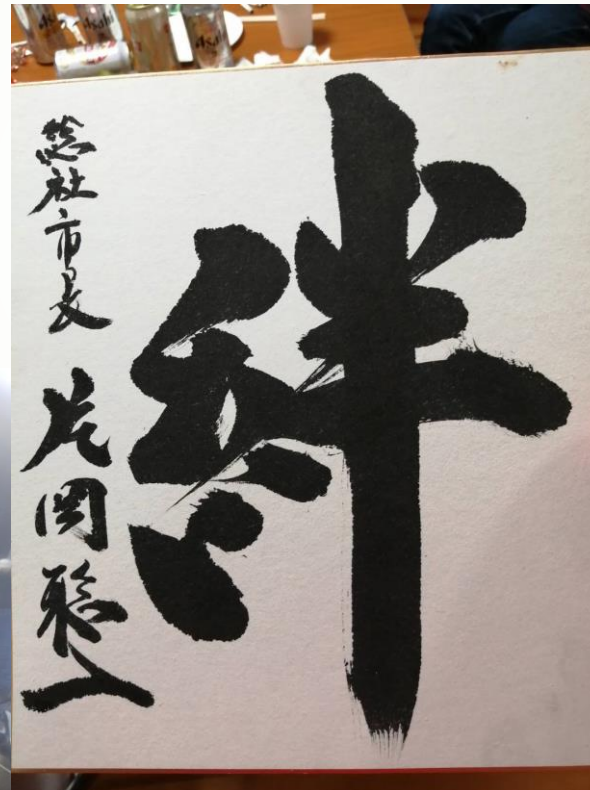
R2年8月 野菜作り講習会



片岡市長を招いてのコロナに負けるな：ファミリーロード親睦会

令和2年10月3日開催

コミュニケーションの場



成果

- 町内会活動に関心を示す会員の割合が増えた。
- 子どもを含めて参加者が多くなった。
 - ・意識の変化（使命感からボランティアで）
 - ・ミニ園芸教室の開催や「家族で野菜や花を育ててみよう」という取組の結果、子どもの参加が少しずつ増えた。
- 花壇から離れた取組により、参加してくれる人数が増えた。
 - 「家族でミニクリスマスツリー」を作る取組をした結果、令和3年度には、花壇近辺にみんなで大きなクリスマスツリーを飾る予定である。
- 女性部の新設。

課題

- ・参加者が固定されつつあるので、家庭でできる取組の企画。
 - ☆花壇で育てた花から取った種を家庭で栽培するなど。
- ・現在行っている事業の多くは、金銭的な補助があるから実施可能なものである。
 - ☆自分達の手で住みやすい町内会を創っていくという意識改革。
 - ☆成功体験を増やす。
- ・次期リーダーを養成するなど人材の育成。
 - ☆各人から住みやすいまちづくり案が出るようになると、使命感をもって事業を行うことで次の発想が生まれる好循環となる。
各種同好会の立ち上げ、サロン活動や百歳体操の充実など

令和3年度の展望

- ・「協働のまちづくり」をキーワードに住みやすい町内会の下準備に取り組む。
 - 楽しい生活環境
 - 同好会活動の立ち上げなど
 - 安全な生活環境
 - 避難訓練、炊き出し訓練など
 - 多文化共生社会の第一歩
 - 総社市人権まちづくり課の支援をいただき、国際交流事業の実施など



ご静聴

ありがとうございました